



使い分けてもっと便利に「台帳」のご案内！

AタイプとBタイプは何が違うの？

クリーニング店の受付用としてロングセラーの「台帳」。様々な種類があり、自分のお店にはどの台帳が合うのか迷ってしまうことがあるかもしれません。今回は「台帳」各種の違いについてご案内します。まずはAタイプとBタイプで何が違うのでしょうか？

Aタイプ	赤・白・黄・黒・紺・緑 茶・縞・ネズミ	未・済 円計 円	預り日 お渡日	様 3982
Bタイプ	月 日	赤・白・鼠・黒・紺・柄 様	1000	未・済 合計 円 円

上はSR台帳の2タイプですが、受付時に商品の検品をしてから最後にお客様のお名前をお聞きするお店はAタイプ、逆に先にお名前をお聞きしてから検品を行うお店はBタイプをお勧めします。左から記入しますので、そのような使い分けで2種類ご用意しています。

3Pと4P、複写枚数の違いはここ！



NR台帳には3P・4Pと複写枚数が2種類ありますが、それは「工場用伝票」があるかないかの違いです。個人店やユニット店・工場前店舗等で、お店と工場の控えを別々に必要としない場合に3Pの台帳を使用します。また、工場設備を持たない取次店等ではお店と工場の控えが別々に必要ですので、4Pを使用します。4Pより3Pの方が1枚少ない分価格も安くなっていますので、無駄な控え部分が不要なお店は3P台帳をご検討ください。

※SR台帳は4Pのみとなっています。

他にこんな台帳もあります！



様々な用途によって使い分けができるよう、他にも色々な台帳をご用意しています。外交員の持ち運びやカウンターの狭いお店に便利な小型の「外交用台帳」(5色あり)⇒
 ←見出しシールが必要ないというお店には「預り加工台帳」(番号なしもあります)

